

くすのき



北九州市立葛原小学校
校長 二宮 利之

～ 体育大会でねらうこと ～ 一体感・成就感・所属感！

5月27日(日)は、いよいよ体育大会です。先日の開会式の練習は、立つときの「ヤッ！」という声や応援団の児童の活躍ぶりなどいろんな場面で一体感を感じさせるものになってきています。当日は多くの保護者の皆様や地域の方々に、葛原小の子どもの成長ぶり、素晴らしさを見ていただきたいと思います。

【体育大会のねらい】

この体育大会という行事は、体育科の学習の成果を発表することと共に、体育的な活動をもとにしながら集団への所属感を高めることもねらいとしています。そこで、全校の子どもたちが、同じ運動場で一堂に会し、協力して一つ一つの演技を成し遂げることを通して、自分の役割を自覚し、一体感・成就感を味わうことができることが大切なのです。言葉には出さないにしても「葛原小学校の一員でよかった」「みんなですばらしことをやり遂げた」「また、明日から学校生活をがんばるぞ」という満足感・成就感を感じてほしいのです。そんな機会になるようにしたいと考えています。

ですから、応援団や演技係、用具係など運営に関する各係の仕事などを、児童が自らの判断を大切にしてい取り組むことは、ことさら重要な活動だということになります。ぜひ、このよう

なねらいがあることをご理解いただき、ご観覧くだされば幸いです。

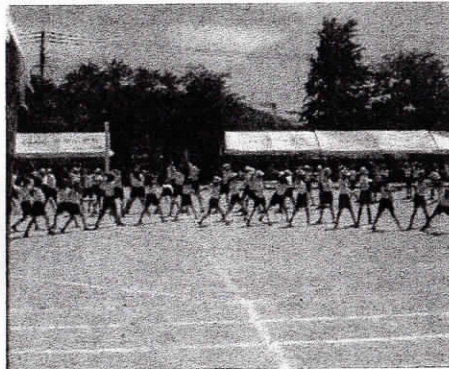
【体育大会観覧の視点】

実際にご観覧いただく場合に、次のような視点で見ていただくとありがたいと思います。ご自分のお子様をしっかりと見ていただき、帰宅後がんばりを誉めていただければ、教育効果はより大きくなり心の成長にもつながっていくと考えています。

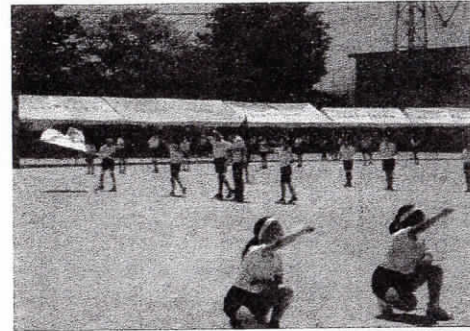
☆ 観覧の視点 ☆

- 集団で行動・演技する際に全体に合わせようと努力する子どもの姿
- 自分のベストを尽くそうとする子どもの表情や姿
- 円滑な運営のために、スタッフとしてがんばる高学年の子どもの動き
- 応援団を中心にした子どもの一体感の高まり
- 体育的な演技を必死になって楽しみ、熱中する子どもの姿
- 勝ち負けを素直に受け入れ、自分や相手のがんばりに拍手を送ることができる姿
- うまくできなかった時でも、応援したり、演技を続けようとしたりする真剣な表情やふるまい

【運動会練習風景スナップ】



砂埃が激しく舞う中、先生の指導に合わせ、熱心にソーラン節を踊る五年生。迫力・気合十分です。



昼休みに、応援団の練習が進みます。体育大会で、みんなの一体感を高める大切な仕事の一つです。暑さに負けず、頑張れ！

もう一つの体育大会

(いつもご協力いただいておりますが、今年も…！)

マナーアップ体育大会

よろしくお願い申し上げます。

体育大会の練習中に、こんな“声”が聞こえてきます。それは、紅白の組に関係なく「がんばれー」とエールを送る声、また、「～するとうまくできるんだよ」とアドバイスする声などです。子どもたちは、運動技能の向上だけでなく、分かち合う心や学年一体となって、めあてを意識してともに向上しようとする姿を見せています。

そこで、マナーよく演技する子どもと観る側も一体となって、体育大会を盛り上げるために、下記のマナーアップをよろしくお願い申し上げます。

- ☆ 校地内での喫煙ゼロ！禁酒！
- ☆ ゴミは、必ず持ち帰る！
- ☆ 近隣への自家用車駐車ゼロ！